

8 水道のあゆみ

きたきゅうしゅうし
北九州市の水道は、いつごろつくられ、
どのように広がったのだろう。



●水道のはじまり



井戸水を使っているようす



「水屋」のようす

水道がなかったころ、人々はおもに井戸の水を使っていました。しかし、そのまま
で飲める井戸水が少なかったのです。その後、明治のなかごろ（約130年前）にな
って人口が急にふえてきたので水が不足しました。そのため、人々は毎日のくらし
にたいへん困りました。「水屋」と呼ばれる人たちが、きれいな井戸の水をおけで運
び、まちで売り歩いていたのもこのころです。



伝染病でなくなった人の数（門司）

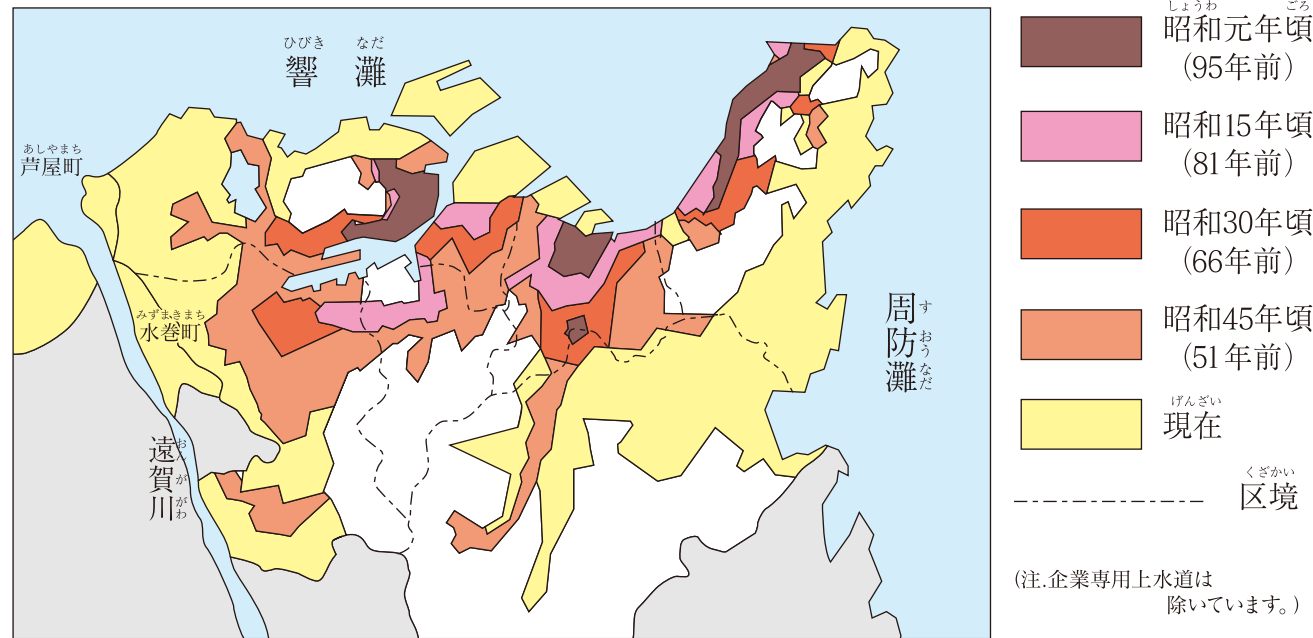
明治35年（119年前）	443人
明治40年（114年前）	381人

そのうち、門司でコレラなどの伝染病
が何回もはやるようになりました。よこれ
た井戸の水が原因で、病気が広がってい
ったのです。「病気をふせぐために、ぜひ
水道をつくってほしい」という町の人たち
の声が高まっていきました。そこで、明治
44年（110年前）北九州市で初めての水
道が門司にできました。

●水道の広がり

その後、若松、小倉、八幡、戸畑の順に水道がつくられ、人口がふえたり、工場が
できたりして、水がたくさん使われるようになるにつれて、下の図のように水道が広
がっていました。

北九州市の水道の広がり



●北九州市の水道のあゆみ

明治44年	1911年	門司の一部で給水をはじめる。
明治45年	1912年	若松で給水をはじめる。
大正 2年	1913年	小倉で給水をはじめる。
昭和 5年	1930年	八幡で給水をはじめる。
昭和 6年	1931年	戸畑で給水をはじめる。
昭和27年	1952年	北九州水道組合ができる。
〃	〃	頓田第1貯水池ができる。
昭和34年	1959年	頓田第2貯水池ができる。
昭和36年	1961年	穴生浄水場ができる。
昭和38年	1963年	北九州市が誕生する。
昭和39年	1964年	北九州水道組合を解散し、北九州市水道局となる。
昭和40年	1965年	力丸貯水池ができる。
昭和47年	1972年	油木貯水池ができる。
〃	〃	井手浦浄水場ができる。

昭和49年	1974年	ます淵貯水池ができる。
昭和58年	1983年	遠賀川河口堰ができる。
〃	〃	本城浄水場ができる。
昭和61年	1986年	耶馬溪貯水池ができる。
平成 3年	1991年	平成大堰ができる。
平成10年	1998年	平成大堰より取水をはじめる。
平成19年	2007年	芦屋町の水道事業を北九州市水道局が行う。
平成23年	2011年	北九州市に水道ができて100年になる。
〃	〃	宗像市・新宮町に水道水を送りはじめる。
平成24年	2012年	下水道部門と一緒に、北九州市上下水道局となる。
〃	〃	水巻町の水道事業を北九州市上下水道局が行う。
平成27年	2015年	岡垣町に水道水を送りはじめる。
平成28年	2016年	福津市・古賀市に水道水を送りはじめる。
平成29年	2017年	香春町に水道水を送りはじめる。

★指導上の留意点★

芦屋町と水巻町では北九州市が水道事業を行っていることや、宗像市・福津市・古賀市・新宮町・岡垣町・香春町へは北九州市の水道水が送られていることと併せ、P.9～10と関連させて、市外に貯水池があることにも気付かせ、お互いの市や町が連携していることについて考えさせてください。